

J Aバンク大分における地域密着型金融の取組状況（2018年度）

J Aバンク大分（大分県下 J Aと大分県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、2016～2018年度 J Aバンク大分中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

2018年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク大分は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク大分は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

2019年3月末時点の J Aバンク大分の農業関係資金残高^(注1)は7,224百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は1,916百万円を取扱っています。

(注)

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
- 2 J Aバンク大分が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	2019年3月末現在
農業	1,018
穀作	92
野菜・園芸	220
果樹・樹園農業	-
工芸作物	82
養豚・肉牛・酪農	515
養鶏・鶏卵	97
養蚕	-
その他農業	10
農業関連団体等	6,206
合計	7,224

(注)

- 1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。なお、本残高には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

【資金種別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	2019年3月末現在
プロパー農業資金	6,784
農業制度資金	439
農業近代化資金	416
その他制度資金	23
合 計	7,224

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク大分が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク大分が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

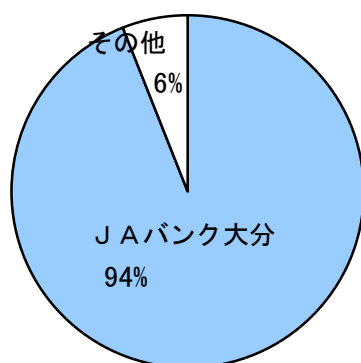
種 類	2019年3月末現在
日本政策金融公庫資金	1,916
そ の 他	0
合 計	1,916

(注) JAバンク大分では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

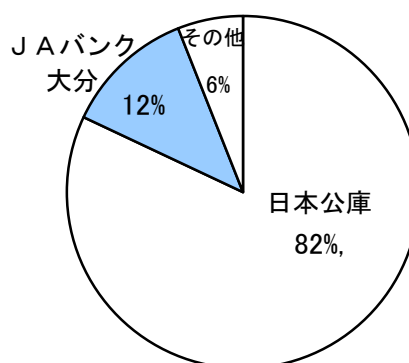
JAバンク大分は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【大分県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア
(2018年12月末時点)
出所：大分県 団体指導課



日本政策金融公庫 農業資金取扱いシェア
(2019年3月末時点)
出所：日本政策金融公庫 大分支店



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aバンク大分では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、2018年度末時点で5 J A、1 信連・20名配置しています。

J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は2018年度末時点で県内に44名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

信連では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

(4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク大分は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク大分では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

平成30年度の青年等就農資金等の取り扱い実績はありません。

(2) 農商工連携の推進

J Aバンク大分は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【2018年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
JAグループ・JFグループ 九州・沖縄 食の発信商談会	平成31年 2月20日	九州各県信連 農林中央金庫	3団体	-	成約12件 (全体)
第3回JFC大分農商工 商談会	平成31年 1月21日 ～22日	日本政策金融 公庫 大分支店	2団体 (全体99団体)	-	成約147件 (全体)

(3) J Aバンク大分講演会・セミナー等の開催・参画

J Aバンク大分では、一流の経営者を招いた講演会や、6次産業化・輸出・ファンドに関するセミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【2018年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	開催日	主催者	対象参加者	参加者数	内容
農業経営者セミナー	平成30年 10月26日	J A大分信連 農林中央金庫	融資取引先 融資推進先	28名	・地域農業の発展について ・農業法人投資育成制度の活用 ・食農ビジネスの取り組みについて

(4) 農業法人とのネットワーク拡大

J Aバンク大分では、農業法人とのネットワーク拡大、関係強化に取り組んでいます。

(5) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク大分では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【2018年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期中経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A	
		正常先①	2	2	—	2	100
要注意先	うち その他要注意先②	1	1	0	1	100	0
	うち 要管理先③	0	0	0	0	0	0
	破綻懸念先④	0	0	0	0	0	0
	実質破綻先⑤	0	0	0	0	0	0
	破綻先⑥	0	0	0	0	0	0
	小計 (②～⑥の計)	1	1	0	1	100	0
	合計	3	3	0	3	100	0

(注) 期中経営改善支援取組先および債務者区分は平成31年3月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク大分では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 資本供与の取組み (ファンドの活用)

J Aバンク大分では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

(2) 6次産業化の支援

J Aバンク大分では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる6次産業化促進支援を行っています。

(3) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク大分では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【2018年度 負債整理資金の貸出実績】

単位 件、百万円

資金名	2018年度 実行件数	2018年度 実行金額	2019年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	43
畜産特別資金	0	0	153
その他	9	10	694
合計	9	10	890

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(4) 動産担保融資の活用

J Aバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク大分では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っております。

(1) 食・農への理解促進

J Aバンク大分は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、2018年度には県下の小学校260校へ約11,000冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下J Aでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動名	活動内容
J A大分中央会	食育ファミリーフェスタ	ブドウの収穫体験
J Aおおいた	農業体験	ビワの収穫体験
	親子ピザ作り教室	特産物を使用したピザ作り体験
	J A家の光親子料理教室	特産物を使用した料理教室
	ふれあい農園	ジャガイモの植付・収穫体験
	農業体験	ブドウの収穫体験
	夏休み親子スクール	地域の特産物の紹介
J A九重町飯田	学童農園	バケツ稲づくり

以上